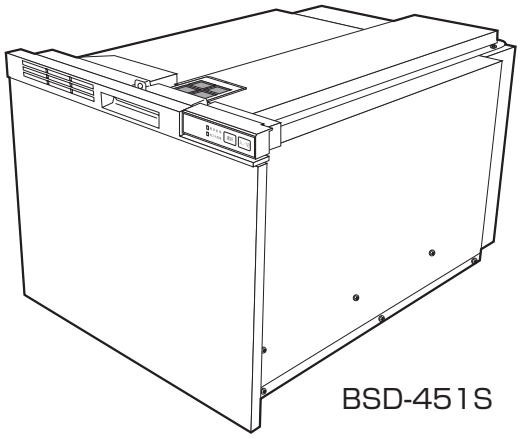
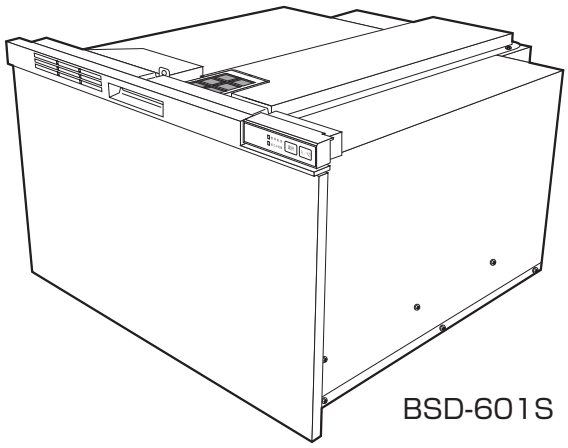
TOSHIBA
Leading Innovation

東芝水切り乾燥キャビネット 設置工事説明書

形名 BSD-451S
BSD-601S



BSD-451S



BSD-601S

この設置工事説明書は、商品を正しく施工して頂くための手順や方法・注意事項について記載したものです。施工にあたっては内容を確認しながら、確実で安全な施工をお願いいたします。

もくじ

1. 安全上のご注意 …… 1〜2
2. 各部のなまえと寸法 …… 3
3. 付属品の確認 …… 4
4. 設置場所について …… 5
5. 電気工事について …… 5〜6
6. アース（接地）のしかた …… 6
7. 本機を設置するキャビネットについて …… 7〜8
8. 扉面材　穴位置寸法 …… 9
9. 設置工事手順 …… 9〜14
10. 試運転 …… 15
11. 試運転後の作業 …… 16
12. 工事後の整理など …… 16

工事後の点検（チェックリスト） …… 17
お客様への取り扱い説明 …… 17

工事をされる方へのお願い

●製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
●電気配線工事は、『電気設備基準』,『内線規程』に準じ、電気工事登録業者に依頼して施工してください。
●設置前に電気配線工事が必要です。あらかじめ行ってください。
●工事終了後、工事後の点検のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。
●この説明書は工事終了後、お客様へお渡しください。
●工事に関して不明な点がありましたらお買い上げの販売店へご相談ください。

1. 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことをつぎの内容にて説明します。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害、損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことが想定されること」を示します。
⚠ 注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害※2を負うことが想定されるか、または物的損害※3の発生が想定されること」を示します。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。（下記は表示の一例です。）

禁止	このような表示は、してはいけない「禁止」を示します。
指示	このような表示は、必ず実行していただく「指示」を示します。
注意	このような表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」を示します。

⚠警告

火気禁止	**火の付いたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けない** 変形や火災の恐れがあります。
水つけ、水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたりしない** ショート・感電の恐れがあります。
	電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりは付着している場合はよく拭く 火災の恐れがあります。
分解禁止	**修理技術者以外は絶対に分解したり修理・改造しない** 火災、感電、けがの原因となります。 修理は、お買いあげの販売店、または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。
禁止	**電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない** 火災・感電の原因となります。

⚠警告

電源プラグは根元まで確実に差し込む
接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

アースを確実に取り付ける
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

禁止
ぬれた手で、電源プラグの抜き差ししない
感電の原因になります。

禁止
電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない
火災・感電の原因や、修理・交換ができなくなります。

禁止
電源コードを固定金具や本体の底面や脚との間に挟み込まない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止
施工のとき電源コード、アース線に傷をつけない
火災・感電の原因になります。

禁止
束ねたコード類を本体の右側にしない

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う
火災・感電の原因となります。

禁止
コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない
火災・感電の原因となります。

禁止
コンセントの差し込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しない
火災・感電の原因となります。

⚠注意

電源プラグを床に落とさない
変形・破損の原因となります。

包装を外す時刃物を使わない
製品本体を傷付ける原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

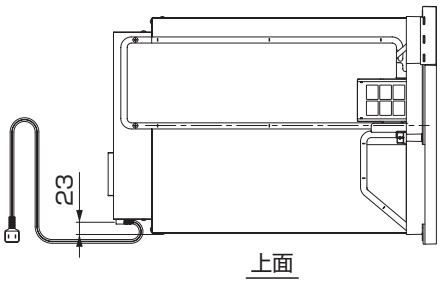
2. 各部のなまえと寸法

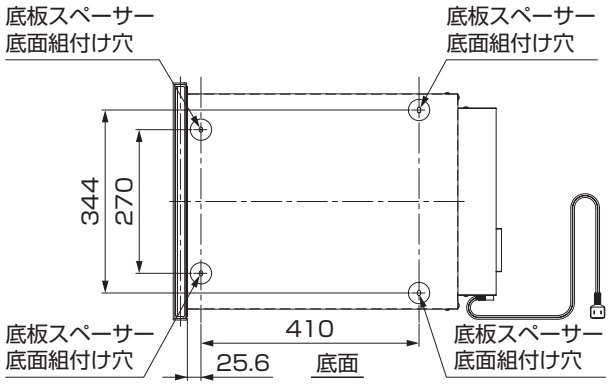
●本体およびカゴのテープやダンボールなどは全部取り外してください。

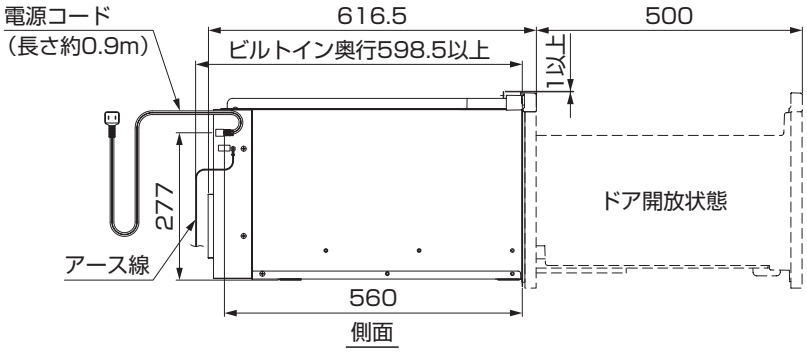
※本説明書は下図に準じるキャビネットが事前に設置されているのを前提にしております。
※本体を設置する場合は下図の設置寸法をお守りください。
（離隔距離については0cmで消防法の基準に適合しております。）
※本体は奥行き600mmのキッチンには設置できません。

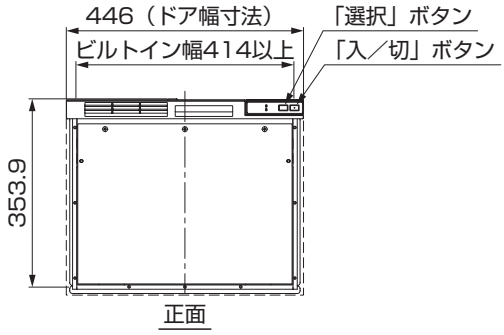
（単位：mm）

■BSD-451S

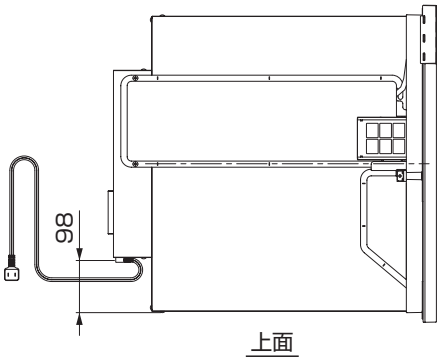


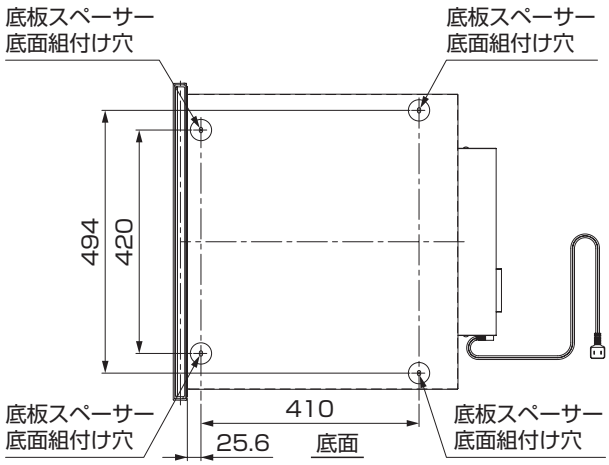


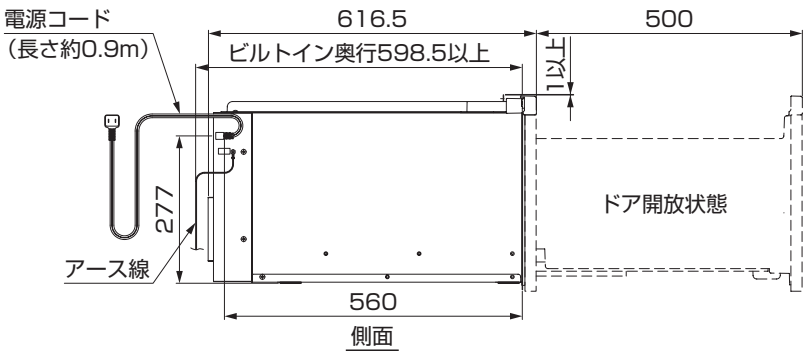


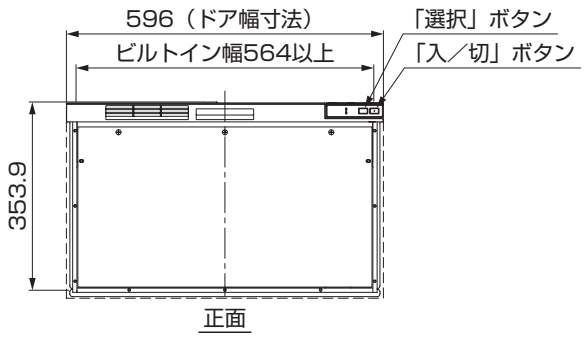


■BSD-601S





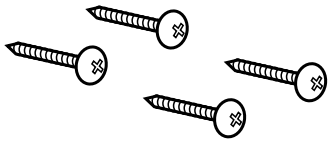


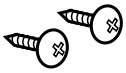
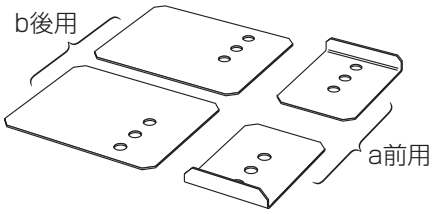
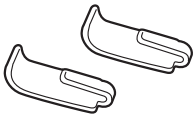
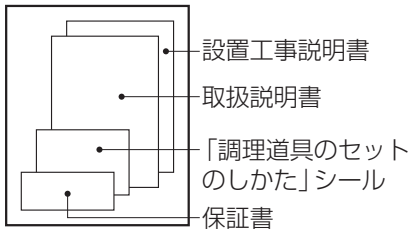
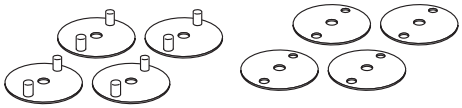
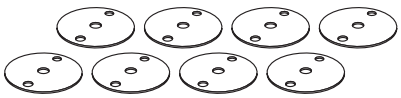


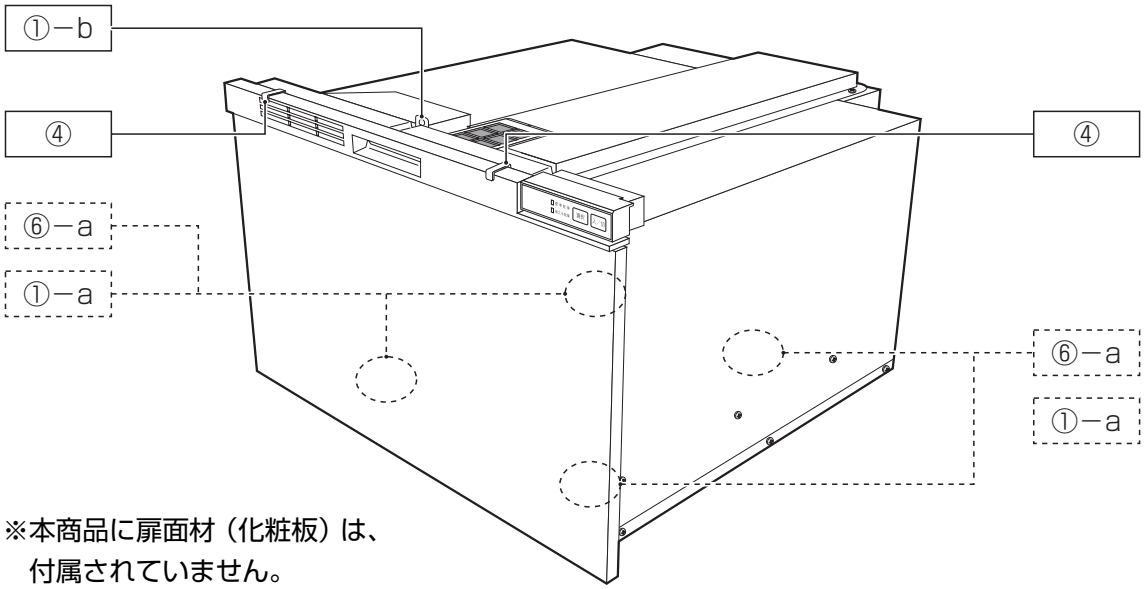
3. 付属品の確認

■据え付け工事に必要な付属品です。そろっているか確認してください。
■本体を使うにあたり必要な付属品の確認は取扱説明書をご利用ください。

BSD-601S（幅600mmタイプ）、BSD-451S（幅450mmタイプ）共通

<table>
<tr><th colspan="2">①本体取り付けねじ</th><th>②化粧板取り付けねじ</th></tr>
<tr><td>a 底板固定
トラスφ4×16mm　4本
  </td><td>b 天板支持金具固定
トラス小ねじ　φ4×6mm　1本
 </td><td>a 皿　φ3.5×13mm　9本

b トラス　φ4×14mm　2本
 
＊使用する箇所はP.10をご参照ください。</td></tr>
<tr><th>③底板補強板</th><th>④取っ手スペーサー</th><th>⑤取扱説明書セット</th></tr>
<tr><td>a 前用2個、b 後用2個
  </td><td>2個
 
＊引出しの取っ手に付いています。</td><td>各1部
  </td></tr>
<tr><th colspan="3">⑥底板スペーサー</th></tr>
<tr><td colspan="2">工場出荷時に組み付けられているもの
a 土台スペーサー　1mm　4枚
b 標準スペーサー　1mm　4枚
  </td><td>付属品袋に入っているもの
b 標準スペーサー　1mm　8枚
  </td></tr>
</table>



※本商品に扉面材（化粧板）は、
付属されていません。

4. 設置場所について

■お願い

●L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオーブンなどの取っ手部に当たったり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。

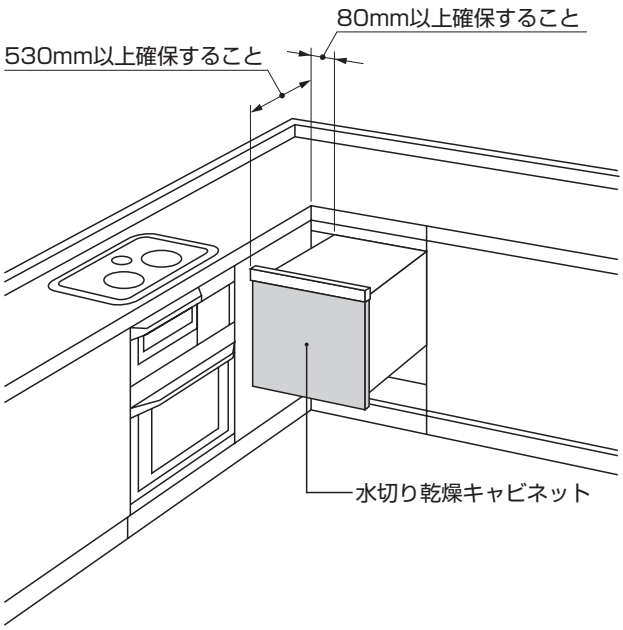
※本機及びキッチンの金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板に電気的に接触しないようにしてください。法令により義務づけられています。

※法令：電気設備の技術基準第167条（平成13年）

【消防法基準適合組込形】

●本製品は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。
建築物等からの離隔距離は、表にかかげる値以上の距離を保ってください。
但し、本体上面にある吸気口部は、14mmの間隔を設けてください。

可燃物からの離隔距離			
上方	側方	前方	後方
0	0	−	0



5. 電気工事について

■工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。電気工事、アース工事は電気工事士の有資格者が行ってください。

●電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。

⚠警告

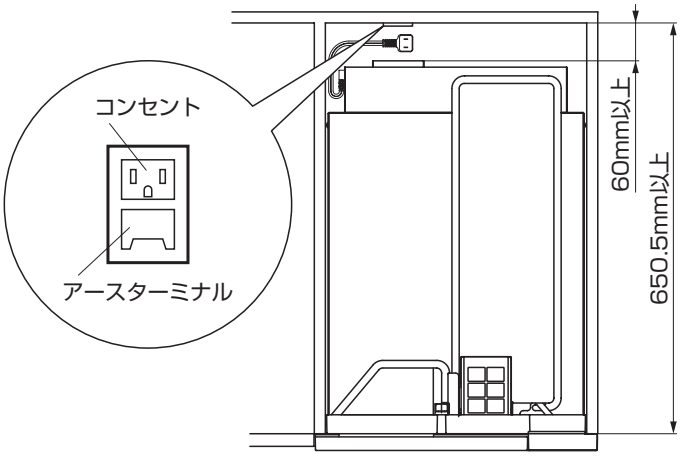
定格15A・交流100Vのコンセントを　単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

●電源コンセント（アース端子付）は隣又は、上・下のキャビネットに設けてください。

●上記の場所に設けられない場合は後壁面に設置してください。

●食器乾燥庫収納用キャビネットの庫内にコンセントを設ける場合は、本体と背板との隙間は60mm以上必要です。（右図参照）



●通常使用状態で、電源プラグがはずせない位置にコンセントを設けた場合は、操作しやすいところに専用の「電源入・切スイッチ」を必ず設置してください。

●コンセントは定格表示125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。
（コンセントは壁面に必ず固定します。）

●アース工事を必ず行ってください。
（アースは法令上、必要です。）

⚠警告

直結禁止

電源コードは直結しない

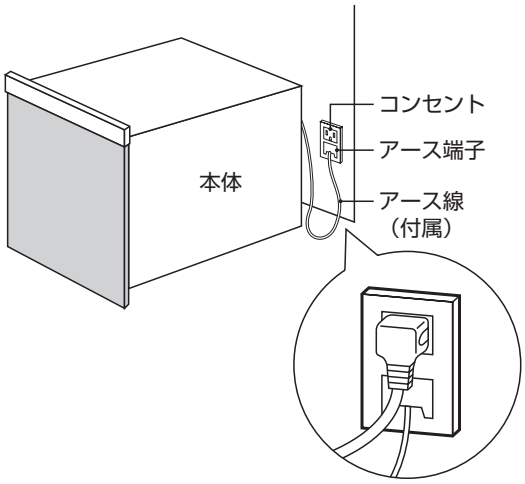
電源プラグを切断し、直結することはさけてください。
漏電の原因になり、修理サービスができなくなることがあります。

●電源プラグ、アース線をコンセント、アース線接続部に接続してください。

6. アース（接地）のしかた

■感電事故防止のため、必ずアース線の取り付けをしてください。
■水回りや湿気の多い所及び屋外に設置する場合は、電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種設置工事を行ってください。
なお、水気のある場所では、このほかに必ず漏電しゃ断機を取り付けてください。
（法令で規程されています。）
■ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しないでください。
（法令で禁止されています）
■アース端子付きコンセントを利用される場合は、接地抵抗（100Ω以下）をご確認ください。
■設置場所の変更やご転居の場合には、必ず再度アース取り付けを行ってください。
※ご不明の場合は販売店または電気工事店にご相談ください。

●アース端子付コンセントを使用の場合



漏電しゃ断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器の接地が必要です。
※尚、主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

推奨漏電しゃ断器～住宅分電盤用小形漏電ブレーカー

品番：東芝ライテック　LB322GB 20A30MA

定格電流：20A

感度電流：30mA（AC100/200V）

既設分電盤の分岐安全ブレーカーＨＢ型と同一サイズですから、そのまま取り替えでき、専用回路の漏電保護ができます。

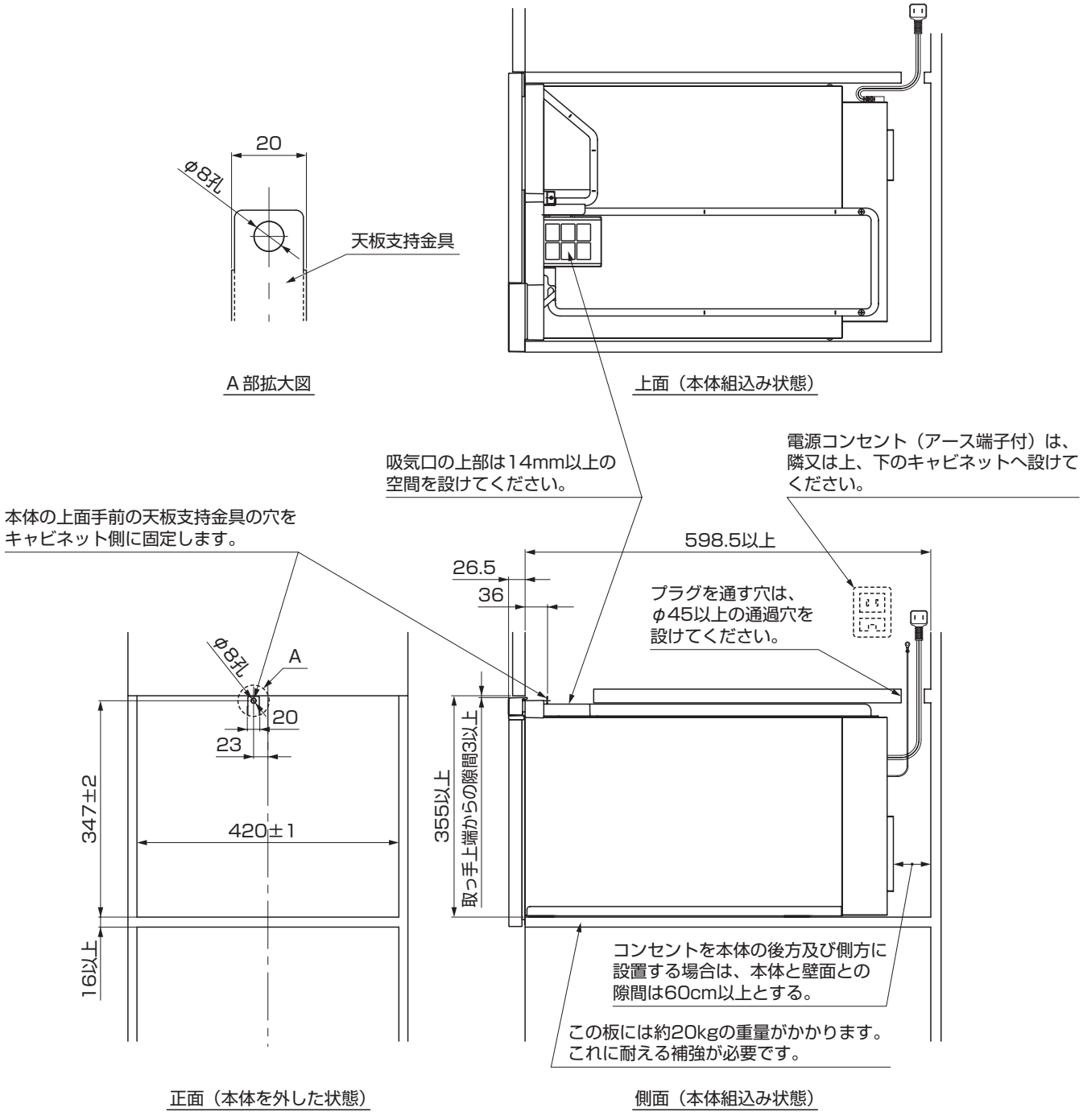
7. 本機を設置するキャビネットについて

取り付けスペースの寸法

（単位：mm）

●東芝水切り乾燥キャビネットを取り付けるためには、下記スペースの確保が必要です。必ずご確認ください。

■BSD-451Sを組み込む場合



⚠警告

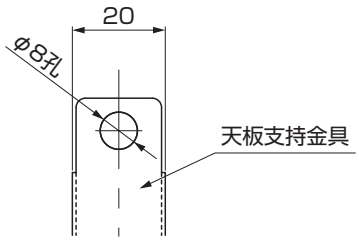
事前確認

本機をキャビネットへ設置する前に、必ずキャビネット寸法を事前に確認すること

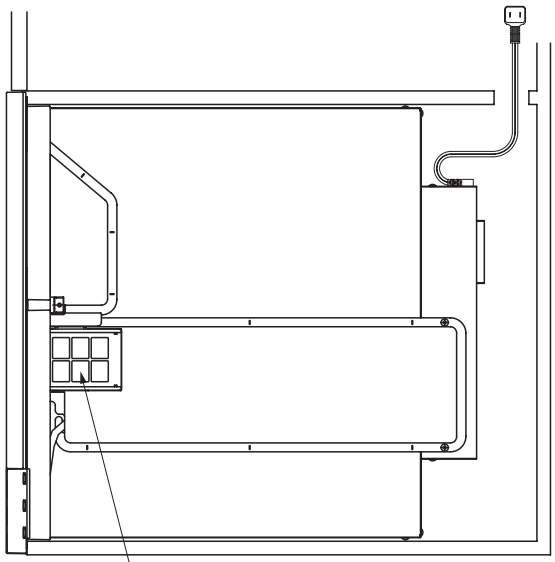
下図のキャビネット寸法を参考に、必ず確認してください。

本機又はキャビネットの損傷や、機体の変形による動作不良の原因になります。

■BSD-601Sを組み込む場合



A 部拡大図

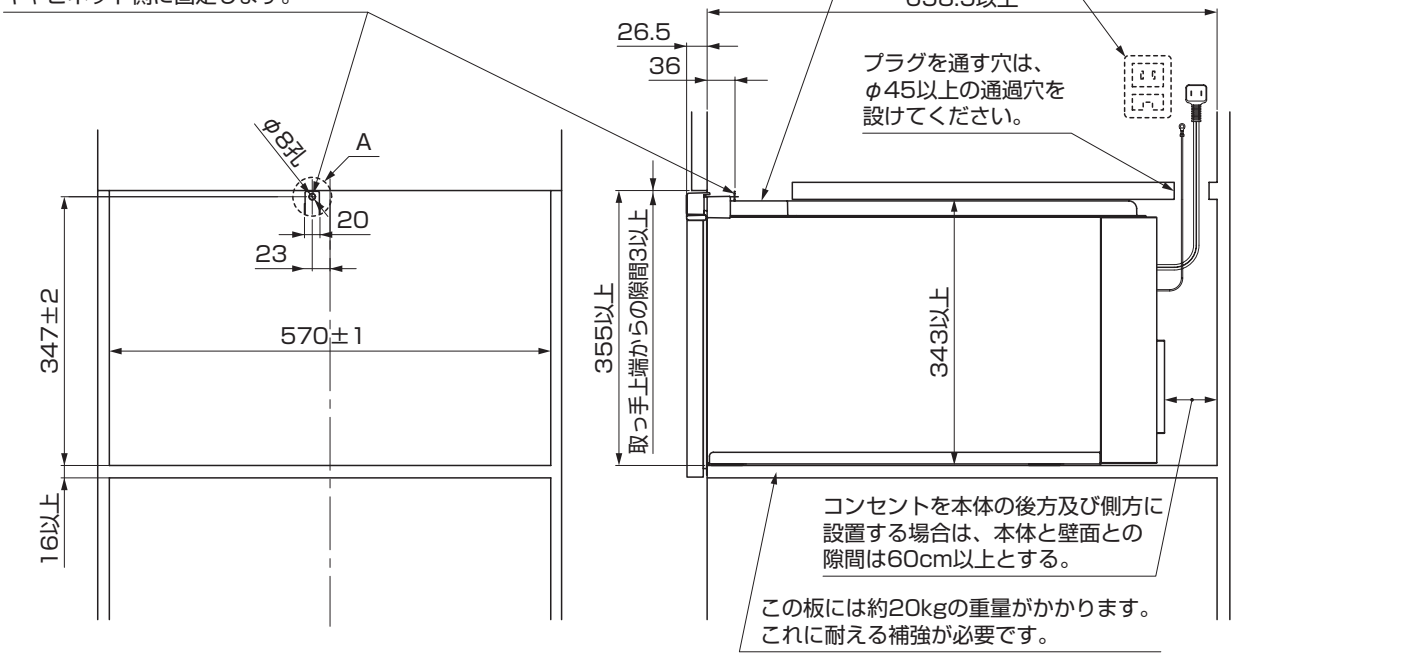


上面（本体組込み状態）

吸気口の上部は14mm以上の空間を設けてください。

電源コンセント（アース端子付）は、隣又は上、下のキャビネットへ設けてください。

本体の上面手前の天板支持金具の穴をキャビネット側に固定します。



正面（本体を外した状態）

側面（本体組込み状態）

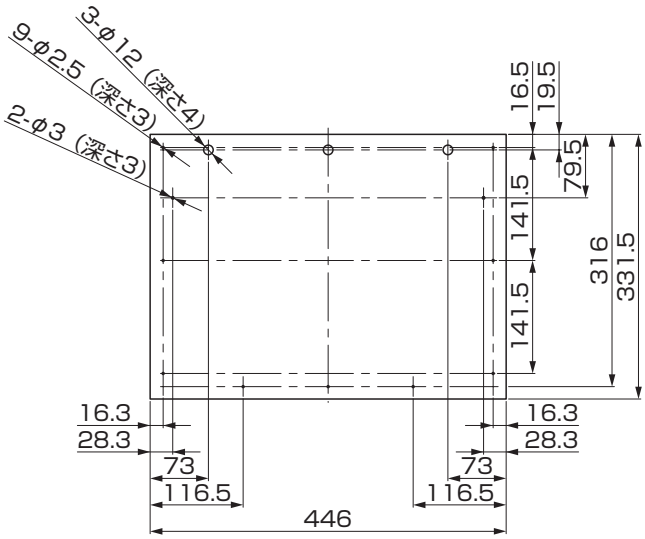
8. 扉面材　穴位置寸法

組付け前に扉面材の各部の寸法を確認してください。

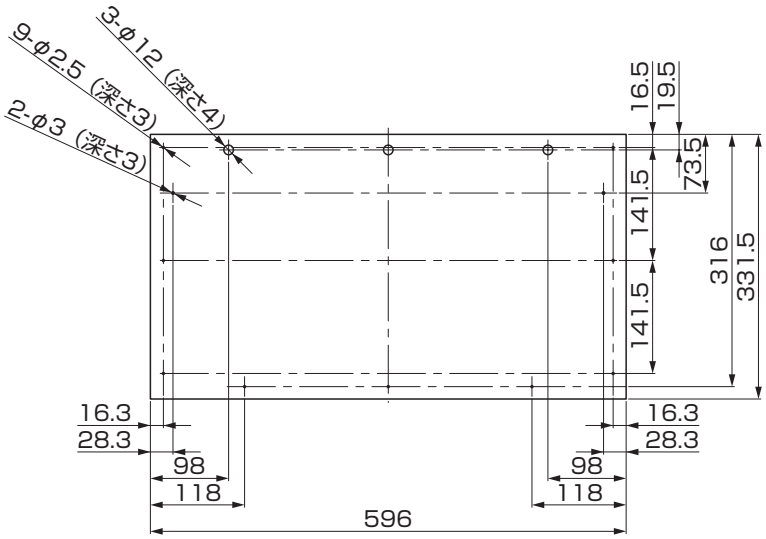
※扉面材の取付可能な厚み範囲　15～21mm

（単位：mm）

■BSD-451S



■BSD-601S



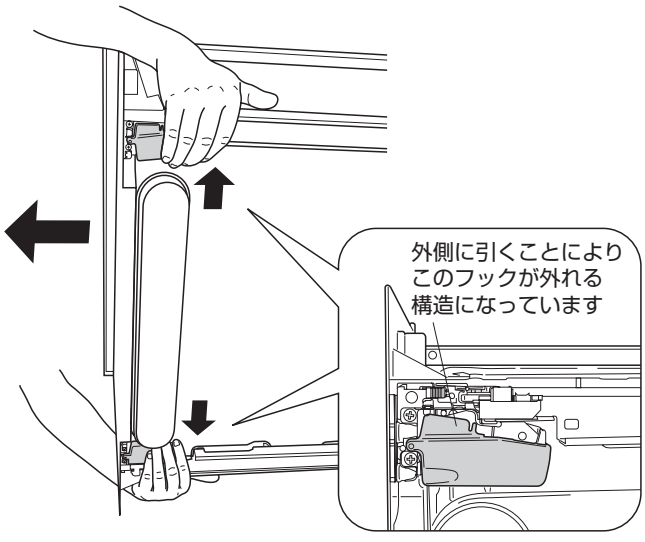
9. 設置工事手順

1. 本機から引出し乾燥庫を取り外す

1．梱包箱から本体を取り出し、平らな場所に置きます。

2．引き出し乾燥庫の取っ手を引き、引き出し乾燥庫をフルスライドさせてください。

3．右図のように左右のオレンジ色のレバーを握るようにして（外側に引きながら）手前にゆっくりと引くと外れます。



2. 引出し乾燥庫に扉面材を取り付ける

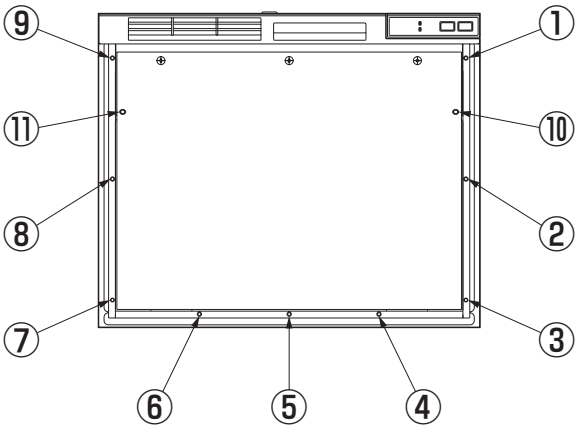
⚠注意

扉面材を取り付ける際、電動工具は使わないでドライバーで取り付ける

電動工具の過度な締め付けトルクで本体や扉面材が破損する恐れあり

1．引き出し乾燥庫のドアに対して扉面材の上端をあてながら、扉面材の下穴とドアの穴位置があっていることを確認してください。
扉面材の取付穴は全て（11箇所）順々に付属品のねじで固定します。
※部位によって固定ねじが異なります。
イラストの①～⑨までは、皿タッピングねじφ3.5×13mmを使用し、⑩と⑪にだけトラスタッピングねじのφ4×14mmを使用してください。

2．扉面材を取り付けたらガタツキ、キズなどがないかを確認してください。



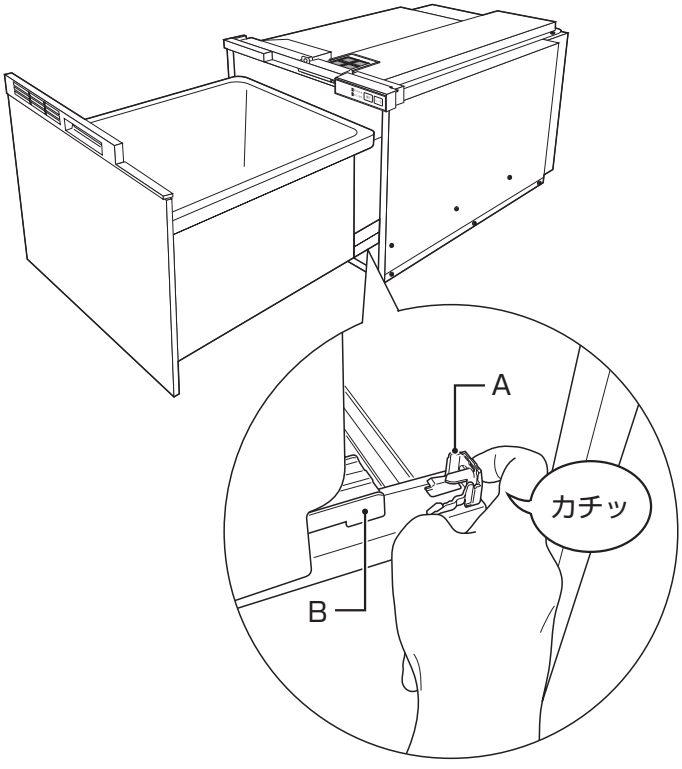
3. 本機に引出し乾燥庫を取り付ける

1．右図のようにレールの上に引き出し乾燥庫を置き、ささえながらレールのAにBを差し込んでください。差し込む際、「カチッ」と音がなることを確認しながら取り付けてください。

ポイント

合わせずらい時は引き出し乾燥庫のレール凸部（引出し乾燥庫自体）を少し浮かせると金具と勘合しやすくなります。左右1箇所ずつ勘合させてください。

2．ゆっくり引き出し乾燥庫を押して、引き出し乾燥庫を閉じます。何回か、引き出しを行い、スムーズに引き出しできるかを確認してください。



4. キャビネットに仮り組み込みを行う

⚠警告

束ねたコード、アース線を本機と棚板の間に挟まない

傷んで感電・ショート発火の原因になります。

⚠注意

本機を専用キャビネットに収める際、本機を両方の手で本体を抱くように持ち上げてください。

本機の手前を上と下でつかむと本機が曲がり、引き出しが収まらなくなります。

1．本体の電源コード、アース線をキャビネットの左側に置きます。電源コード、アース線は極力キャビネットのコンセント、アース端子部の近くに置いてください。

2．挿入時にドアが飛び出さないようにしっかりと閉じていることを確認します。

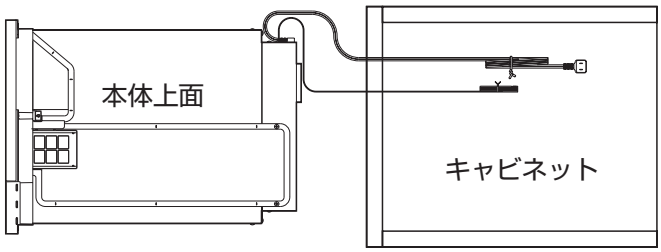
ポイント

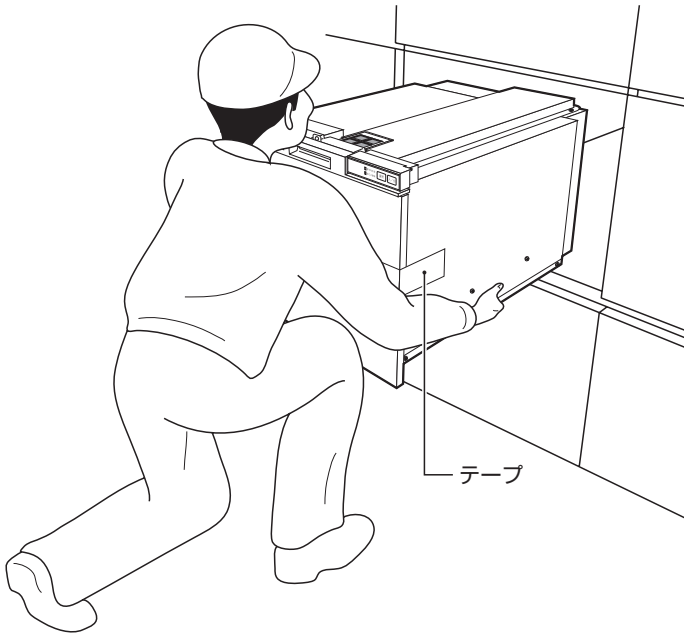
施工時にドアが前面に飛び出すのを防ぐ為、梱包時に貼り付けていたテープを右図の要領でご使用ください。

※このテープは本機を設置し、ビルトインする直前にはがします。

3．そのまま本体を持ち上げ、ゆっくりとキャビネットに挿入します。

4．本機のキャビネットへの仮固定が完了しましたら次の吸気口隙間調整を行ってください。





5. 本機の吸気口隙間調整

⚠警告

3mm以上の隙間がないと吸気が十分でなくなり、故障の原因になります。また異常発熱などの発火の原因になります。

●本機の吸気口はドアの隙間より行います。隙間が十分でないと吸気が十分でなくなり、故障の原因になります。下記の作業を行い確実に隙間を設けてください。

1．右図のようにドアに取っ手スペーサーを左右2箇所とも取り付けてください。
2．取っ手スペーサーを取り付けた状態でドアが最後まで閉じるか確認してください。

＜ドアが最後まで閉じない場合＞

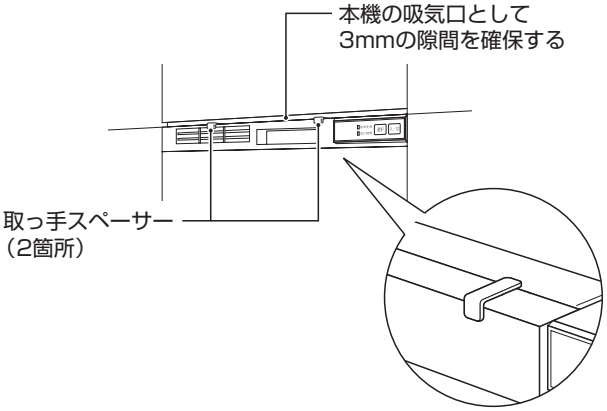
●右図のように本機底部にあるスペーサー及び同梱されているスペーサーを使い、高さ調節をしてください。
●スペーサーは1枚あたり1mmの設定になっており、調整範囲は±2mmになります。
●引き出し乾燥庫側で調整する場合、P.16の1の図の調整レバーをスライドさせて行ってください。本機に対して手前にスライドさせると下に動き、奥にスライドさせると上に動きます。
※引き出し乾燥庫側を調整した場合、タンクの水平を保つためにレール側も調整してください。
レール側の調整は、右図の調整レバーを左右方向に動かすことで調整できます。

＜ドアが最後まで閉じる場合＞

●取っ手スペーサーが付いたまま、引出し乾燥庫が最後まで閉じる場合は問題ありません。

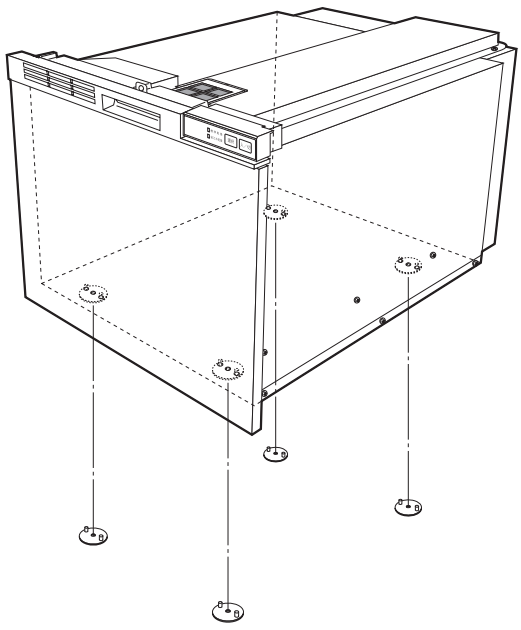
＜取っ手スペーサー＞

●調整終了後、取っ手スペーサーを外し処分してください。



土台スペーサー
厚さ1mm

標準スペーサー
厚さ1mm



※工場出荷時には、土台スペーサー・標準スペーサーが1ヶ所につき各1枚（厚さの合計2mm）設定されています。
※高さ調整範囲　0～4mm

6. 電気配線・アース線の接続

⚠警告

束ねたコード、アース線を本機と棚板の間に挟まない

傷んで感電・ショート発火の原因になります。

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

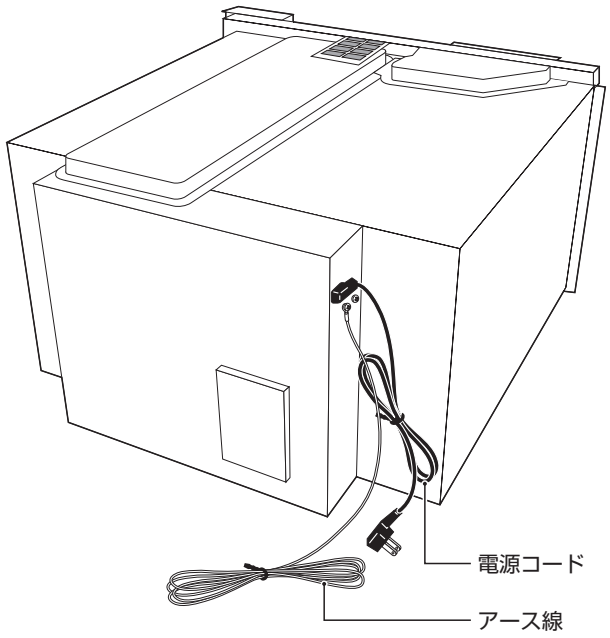
電源プラグはコンセントに奥まで確実に差し込む

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

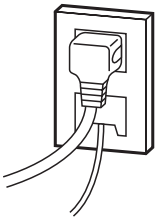
アースを確実に取り付ける

ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。
アースが不完全な場合は感電などの原因になります。

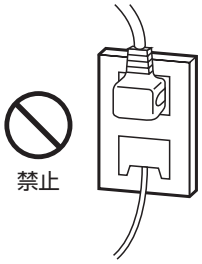
1．コンセント電圧が交流100Vであることを確認します。
2．電源プラグを埋込みコンセントに差し込みます。
3．アース線をアース端子へ接続します。



○ 下図のように差し込む



× 電源プラグの向きが逆です

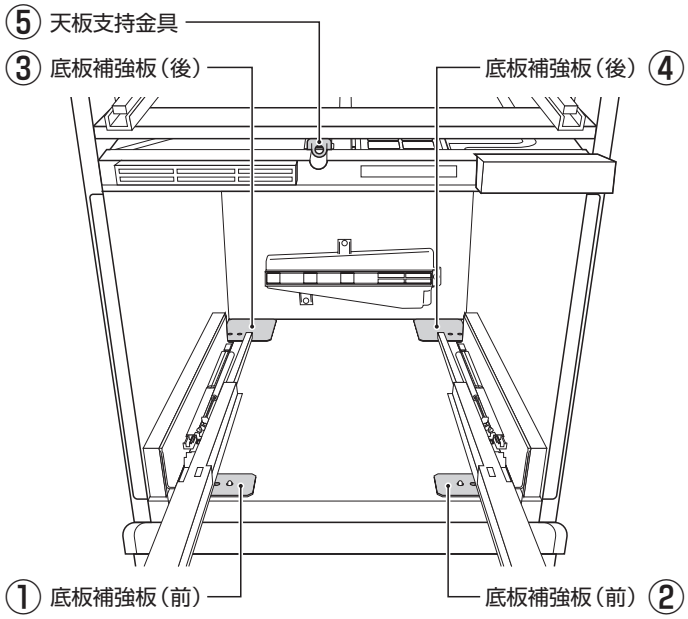


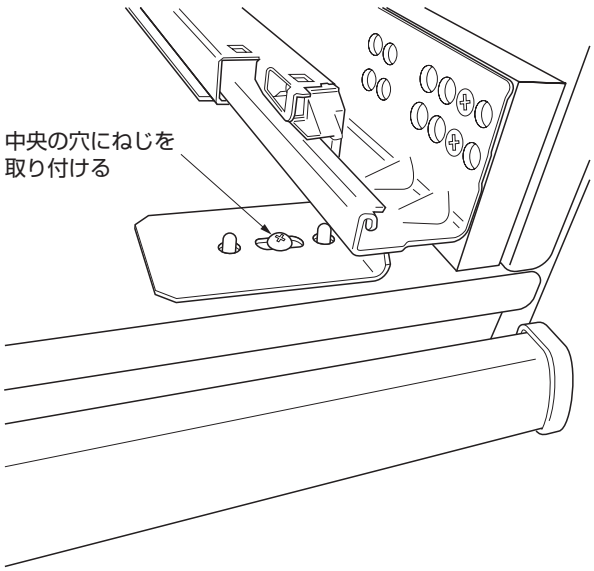
7. 本機をキャビネットに固定

1．再度、引き出し乾燥庫を本機から取り外します。取り外し方は、P.9の1を参照ください。
2．底板補強板を図のように4箇所（右図①～④）にセットしてください。このとき底板補強板の穴が底板スペーサーの突起にはまるようにセットしてください。また前用①②の金具は金具L部をレールの下に挟み込むようににてセットします。
3．右図のキャビネットと本体外郭との隙間が左右均等になるようにしてください。
4．次に底板補強板の中央の穴にトラスタッピングねじφ4×16mmにて4箇所（右図①～④）とも固定してください。
※均等でない場合は、一度、固定ねじを少し緩め、左右の隙間量を調整し、再度、本締めをしてください。
5．本体の上面手前（右図⑤）にある穴と予めキャビネットに付いている金具の穴位置が合っていることを確認してから、付属品のトラス小ねじφ4×6mmにて固定してください。
※固定しない又は、固定が不十分だと本体が変形し引き出し乾燥庫の動作に支障があります。
6．引き出し乾燥庫を本機に取り付け、引出しがスムーズに動作するか確認をしてください。

お願い

調整の際、何度も締め直すと棚板に対して固定ビスがきかなくなり、本機が固定できなくなりますので、ご注意ください。

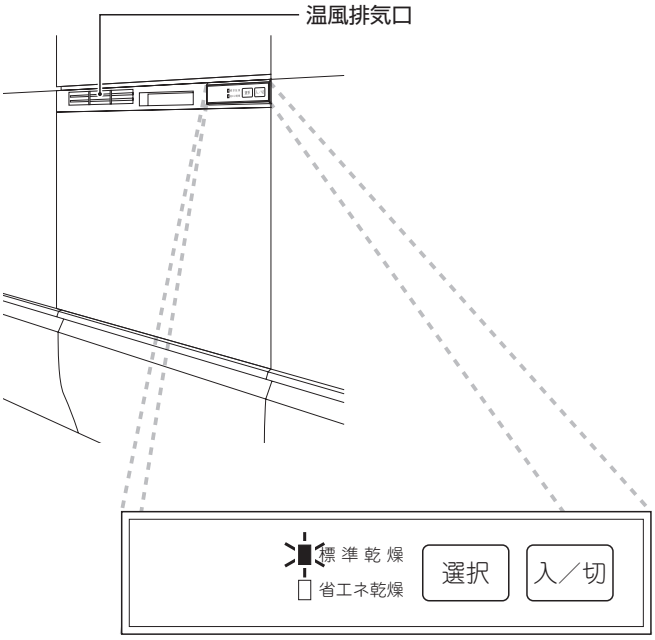




10. 試運転

1 入／切 キーを押して、電源を入れます

●このときコース表示ランプの「標準乾燥」が点灯し標準乾燥運転が開始することを確認してください。また温風排気口より温風がでることを確認してください。

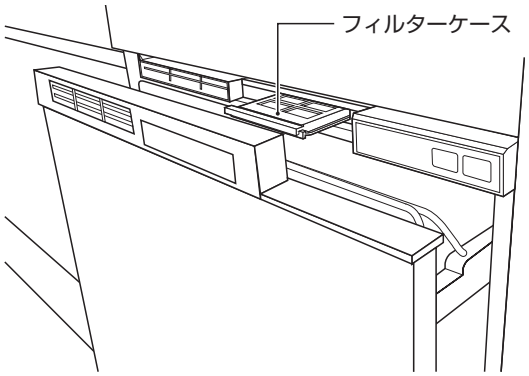


2 入／切 キーを押して、電源が切れる（表示ランプが消える）ことを確認します

※詳しい運転のしかたは取扱説明書のP.15を参考にしてください。

3 フィルターケースの抜き差し確認

●本体設置後フィルターケースの抜き差しができるか確認してください。
またフィルターケースに施工時のゴミやクズが付いていないことも確認してください。

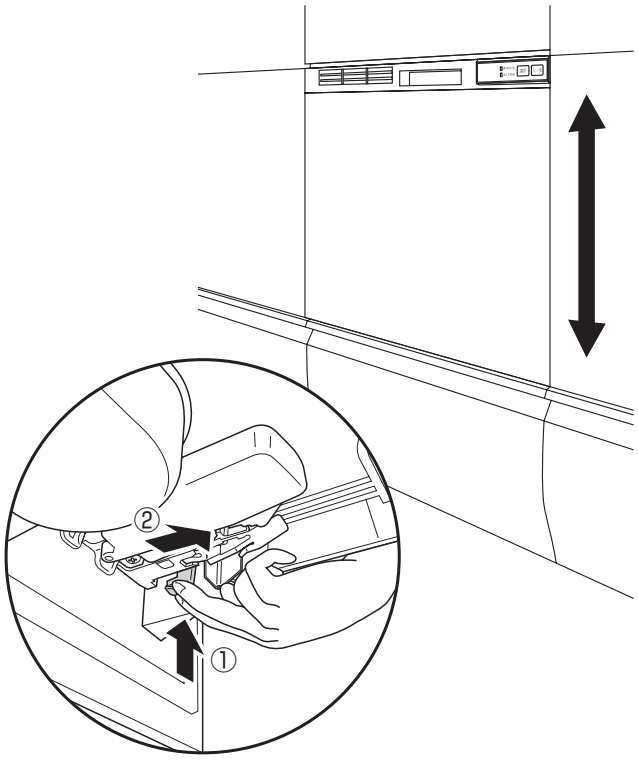


11. 試運転後の作業

■必要に応じて各部の調整を行ってください。
隣接するキャビネットの扉面材との調整はつぎの内容にて説明します。

1 上下方向の調整

●引き出し乾燥庫側で調整する場合、右図の調整レバーをスライドさせて行ってください。
本機に対して手前にスライドさせると下に動き、奥にスライドさせると上に動きます。
※引き出し乾燥庫側を調整した場合、引き出し乾燥庫の水平を保つためにレール側も調整してください。（P.10の3参照）
※調整において手前に傾いていると引き込み不足になります。

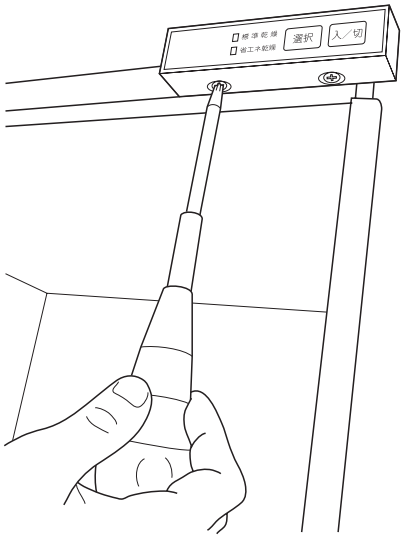


2 左右方向の調整

P.14の7を参照のうえ、調整してください。

3 操作部の調整

●引き出し乾燥庫を引き出し、操作部底面にあるビスを少しゆるめて調整を行ってください。
●調整がすんだら本固定を行い、他の部位に干渉していないか確認してください。



12. 工事後の整理など

工事後の整理など

●工事終了後も、商品には、必要なカバーをするなどして保護してください。
●不要なダンボールや廃材は、排出事業主（元請け）の指示に従い適切に処理願います。
●火気や薬品の始末には特に気をつけてください。
●不要部材を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

工事後の点検（チェックリスト）

点　検		点　検　内　容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ドアの開閉	他の機器への傷害はありませんか。	P.5 P.14	
		操作部に干渉していませんか。	P.14 P.16	
		開閉動作はスムーズですか。	P.10 P.12	
	底補強板	底補強板は取り付けましたか。	P.4 P.14	
電気接続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15Aのアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。	P.5 P13	
		アース線を接続しましたか。	P.6 P.13	
試運転		試運転を行い、正常に動作しましたか。	P.15	

お客様への取り扱い説明

●取扱説明書によって製品の取り扱いを説明してください。
●保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。
●工事終了後、設置工事説明書・取扱説明書・「調理道具のセットのしかた」シールをお客様へ渡してください。

MEMO

東芝ホームアプライアンス株式会社　リビング機器事業部
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

2008. 5.S①P